

1. 経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性について

① デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について当社は、デジタル技術の進化がもたらす変化を重要なビジネスチャンスと捉えています。デジタル技術の進展により、製造業全体がスマートファクトリーやIoT(Internet of Things)の活用によって効率化と自動化が進み、製品開発から製造・納品までのプロセスにおいて多くのメリットが生まれています。これらの変化に対応するために、当社は柔軟で迅速な対応が可能な体制を整え、技術の最新動向を常に把握することで、競争力を向上させていきます。

② 経営ビジョンやビジネスモデル 当社の経営ビジョンは、「高品質なカスタム製品の提供において、お客様から信頼される企業を目指すこと」です。お客様のニーズに応えるため、多品種少量の受注生産に特化し、板金業の領域で確固たる地位を築くことを目指しています。柔軟な対応力と高い技術力を持ち合わせ、お客様との緊密なコミュニケーションを大切に、満足度の高い製品を提供することで、お客様からの長期的な支持を得るビジネスモデルを確立しています。

2. 経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略

当社の経営ビジョンを実現するための戦略として、以下の点に重点を置いています。

・デジタル技術の活用促進: 製品設計から製造までのプロセスにおいて、デジタル技術を積極的に導入します。CAD/CAM ソフトウェアの最新版を使用し、高度な自動化とデータの活用により、生産性を向上させます

・継続的な技術力の向上: 従業員スキル向上: デジタル技術の導入に伴い、従業員のスキルアップが必要です。定期的な研修や教育プログラムを通じて、従業員の知識と技術を向上させ、新しい技術に対応できる体制を整備します。

・顧客との密なコラボレーション: お客様とのコミュニケーションを重視し、ニーズを把握しながら共に製品開発に取り組みます。フィードバックを反映し、より満足度の高い製品を提供します。

・持続可能な経営: 環境への配慮や社会的責任を重要視し、省エネルギーやリサイクルなど、持続可能な取り組みを推進します。

3. 戦略を実行するための体制・組織

当社では、戦略を効果的に実行するための体制・組織を整えています。

・経営層のリーダーシップ: デジタル化への取り組みは経営層のリーダーシップが重要です。代表取締役を中心とする経営陣はデジタル化の重要性を理解し、その推進に積極的に関与します。

・デジタル推進チームの設立: デジタル化を推進するため、南隆弘を責任者とする専門チームを組織します。このチームは、新しい技術の調査と導入、データ管理の最適化、プロセス改善の提案などを担当します。

・技術開発部門: 松本智司サブリーダーを責任者とする技術力の向上を担当する部門で、最新の技術トレンドを把握し、製造プロセスの革新に取り組みます。

・カスタマーサポートチーム: お客様とのコミュニケーションを担当するチームで、お客様の要求を適切に受け止め、製品にフィードバックすることで、顧客満足度の向上を図ります。長井 将を責任者とします。

・持続可能性推進: 代表取締役を中心として、環境への配慮と社会的責任を社内全体で共有し、エコフレンドリーな取り組みを推進、企業としての社会的な信頼を築きます。

これらの組織と体制を通じて、当社は経営ビジョンと戦略の実現に向けて着実に前進していきます。